実　績　報　告　書

住所（主たる事務所の所在地） 〒６１０−１１４３ 京都市西京区大原野東境谷町二丁目５番地９	団体の名称及び代表者の氏名 特定非営利活動法人らくさいライフスタイル

完了年月日	平成２７年　３月　２６日
活動の名称	ラクセーヌでの買物サポート
活動の内容	

活動の内容

1. 子育て世代を対象とした買い物時の託児サービス

（１）キッズプラザ「にょっきっき！」における託児サービスの内容

子育てママがゆっくりとお買い物を楽しんでもらえるように、託児を実施するサービス

①実施期間：2014 年 8 月 7 日～2015 年 3 月 26 日の毎週木曜日（計 32 回）

②託児時間：12 時～17 時（16 時 15 分受付終了）

③預かり時間：最大 45 分

④料金：200 円１回　託児サービス中に、ラクセーヌ専門店で 500 円以上の買い物をされた方は無料とし、レシートの提示をお願いした。

⑤スタッフ：３名体制（洛西地域にお住まいの地域ボランティア、常時有資格者１名を配置）

▲キッズプラザ「にょっきっき！」のマーク

▲託児のようす

2. 高齢者を対象とした身近な相談窓口の設置

健康相談・介護要望など専門家へ気軽にご相談いただける生活相談スペース

協力団体は以下のとおり。

①洛西ニュータウン病院（病気の予防や健康の相談）

②西京区地域介護予防推進センター（介護に関する相談）

③地域包括支援センター（高齢者のための総合相談）

④消費生活総合センター（安心・安全な消費生活情報）

⑤ソーシャルアロマセラピー（介護・子育ての相談）

▲相談のようす①

▲相談のようす②

活動の成果

活動の成果

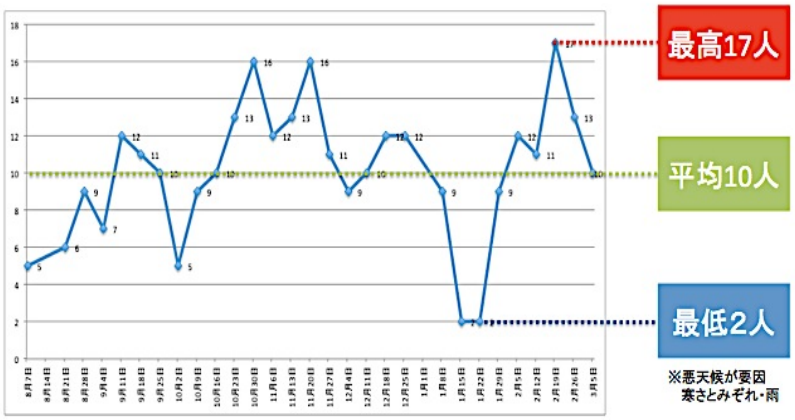
1. キッズプラザ「にょっきっき！」における託児サービスの成果

（１）託児サービスの利用実績

①託児人数：293 名

（3/5、29 回目時点）

②日平均託児人数：10.1 人



（２）託児サービス利用者への満足度等に関するアンケート調査の結果

託児サービス利用者の満足度や改善要望を把握し、その結果を今後のサービス向上に活用するために、託児サービス利用者へのアンケート調査を実施した。その結果を以下に示す。

＜結果の要約＞

●託児サービス利用者の約 97%が満足と回答。また、全員が託児サービスの継続を希望

●木曜日にラクセーヌを来店する機会が増加した利用者は、約 6 割である。

●行きやすくなったお店は以下のとおり。

１位:SUNSUN（67.7%）　２位:ザ・ダイソー(45.2%)　３位:葵書房（32.3%）

●行きやすくなったお店から推測される利用者のニーズ

・SUNSUN、ダイソー　⇒陳列が多く、子連れやベビーカーでは買い物しにくい

・葵書房、ひかり、エディオン　⇒商品をじっくりみて購入したい

・イノブン、CAFFEE COLORADO　⇒ひとりでゆっくり楽しみたい

①調査概要

■実施期間：2015 年 1 月 15 日（木）～2 月 26 日（木）

■有効回答：31 票

■回答者（利用者）の属性

●全員女性

●30～34 歳が約 5 割と最も多く、次いで 40 代の約 2 割

●55%が洛西 NT 内にお住まいの方

●子どもをみてもらえる、祖父母等の家族・親族等の有無：**日常的にみてもらえるのは、全体の 16.1%に止まる**

②主な調査結果

ⅰ）託児サービスの継続ニーズと満足度について

● 継続ニーズ：回答者**全員（100%）が託児サービスの継続を希望**

● 満足度：**約 97%が満足**と回答（①大変満足と②概ね満足の計）

＜満足・やや不満足の主な理由＞

◎ゆっくり（自由に）買い物ができ、助かった。（6 件）

◎買い物が素早く済ませられる。楽になった。（3 件）

◎お茶をするなど、一人の時間が過ごせた。（3 件）

◎子どもが楽しく過ごせている。（6 件）

◎はじめて預けた。普段は預けるところがない。（2 件）

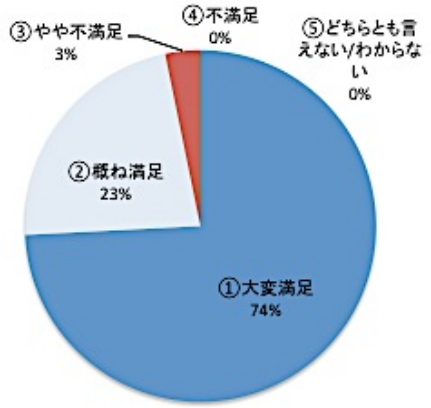
◎子どもが毎週楽しみにしている。（2 件）

◎託児スタッフが親切（2 件）

◎子どもの成長を感じた。（1 件）

△託児時間（45 分）を延長してほしい。（1 件）

△午前中も実施していただけると助かる。（1 件）



ⅱ）木曜日（託児実施日）にラクセーヌに訪れる機会の変化（複数回答）

● **来店機会が「増えた/やや増えた」が 58.1%**

● 「普段は異なる曜日に来店していたが、木曜日に来るようになった」が 6.5%

● 「変わらない/託児サービスの有無は来店機会と関係しない」が 9.5%

ⅲ）託児サービスによって行きやすくなったお店（上位３つまで、複数回答）

● 行きやすくなったお店

１位：SUNSUN（67.7%）

２位：ザ・ダイソー(45.2%)

３位：葵書房（32.3%）

＜行きやすくなったお店から推測される利用者のニーズ＞

● SUNSUN、ダイソー

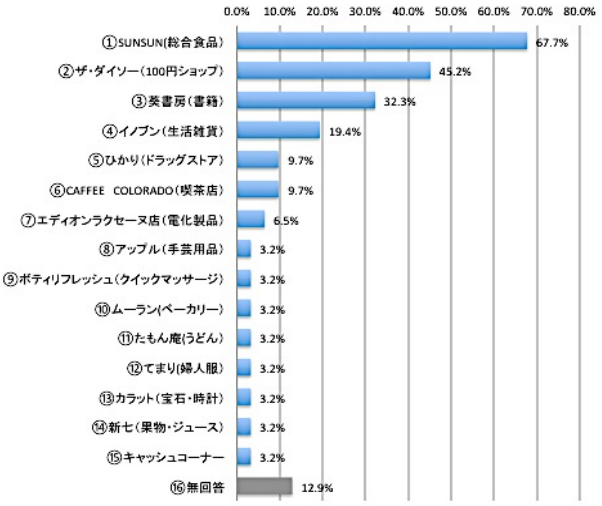
⇒陳列が多く、子連れやベビーカーでは買い物しにくい

● 葵書房、ひかり、エディオン

⇒商品をじっくりみて購入したい

●イノブン、CAFFEE COLORADO

⇒ひとりでゆっくり楽しみたい



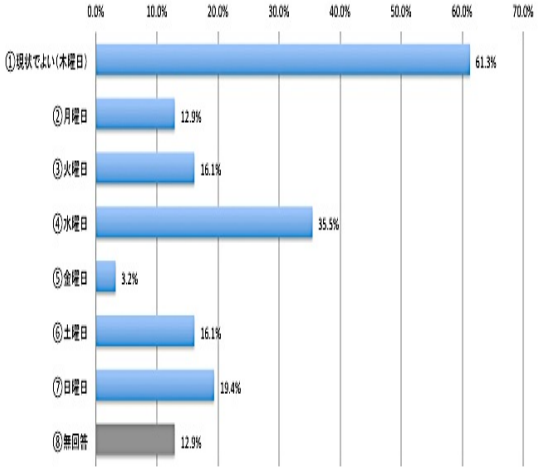
ⅳ）曜日・時間帯に対する利用者の希望

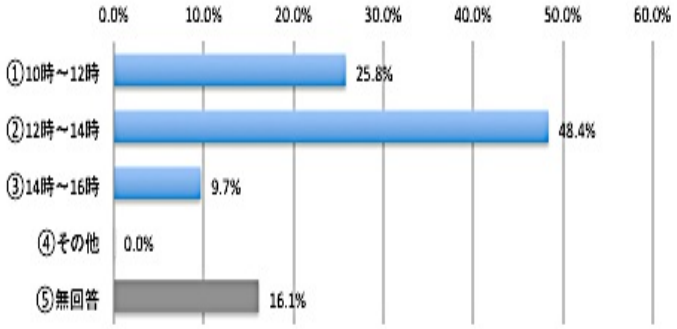
＜曜日（上位３つまで、複数回答）＞

- **現状でよい（木曜）が 61.3%。次いで、水曜（25.5%）、**日曜（19.4%）の順
- 水曜の希望が多いのは、従来から来店頻度が高い「ポイント３倍デー」にあわせて実施してほしいとの希望だと推測される。

＜時間帯（最も希望する時間帯）＞

- **12 時～14 時が 48.4%。次いで、10 時～12 時（25.8%）**の順
- 現在は、12 時～17 時までサービスを実施しているが、時間帯を早める（10 時 30 分開始など）ことも検討の余地がある。託児スタッフからも「早めてはどうか。」という意見がきかれている。





（３）託児サービスの実施による副次的効果

・買い物中の高齢者や、高校生と子どもたちのふれあい

・子どもを預けたママ友同士が、隣接するフードコートでお茶

▲買い物中の高齢者とのふれあい

▲高校生とのふれあい

（４）託児サービス運営上の工夫

①利用者に対して、スタンプカードを発行

利用者に託児サービスの取り組みを周知させることと、「にょっきっき！」に愛着を持ってもらうことを目的としてスタンプカードを発行した。スタンプが 10 個たまるとラクセーヌお買い物券 500 円分がもらえる特典も付与した。

▲スタンプカード（外面）

▲スタンプカード（中面）

②託児スタッフ定例会（月１回）の開催

託児スタッフ（13 名）、京都市住宅供給公社洛西事業部、ラクセーヌ商店会、NPO 法人らくさいライフスタイルのメンバーで定例会を開催（月１回程度）し、託児サービスの運営の改善点を出し合いながら進めていった。

▲定例会のようす

2. 高齢者を対象とした身近な相談窓口の利用実績

＜西京区介護予防推進センター＞

計 489 名、１日平均 40 名

日付	利用者数	日付	利用者数	日付	利用者数	日付	利用者数
8/7	35 名	10/30	41 名	12/18	40 名	2/19	43 名
9/4	40 名	11/6	47 名	1/29	38 名	3/5	44 名
10/2	43 名	12/4	39 名	2/5	42 名	3/12	37 名

＜境谷地域包括支援センター＞

計 21 名、１日平均 5 名

日付	利用者数	日付	利用者数
8/7	5 名	12/4	5 名
10/2	4 名	2/5	7 名

＜沓掛地域包括支援センター＞
計 16 名、1 日平均 5 名

日付	利用者数	日付	利用者数
9/4	4 名	3/5	5 名
11/6	7 名		

＜洛西ニュータウン病院＞
計 32 名、1 日平均 10 名

日付	利用者数	日付	利用者数
9/11	13 名	11/13	9 名
10/9	10 名		

＜ソーシャルアロマセラピー＞
計 40 名、1 日平均 10 名

日付	利用者数	日付	利用者数
8/21	9 名	12/11	12 名
10/16	10 名	2/12	9 名

課　題　等

今後の課題等

1. キッズプラザ「にょっきっき！」における託児サービスの課題

キッズプラザ「にょっきっき！」における託児サービスの今後の課題は、「継続性」である。

「継続性」は大別すると、①活動費の継続的な確保、②託児スタッフの継続的関わり、③ラクセーヌ、公社、NPO および託児スタッフの協力体制の継続からなると考えており、次年度以降も長期的に実施していくためには不可欠な要素である。

（１）活動費の継続的な確保

まず、活動費は、託児スタッフの人件費を捻出するために安定した財源の確保が必要である。現在は、ラクセーヌ商店会や西京区からの助成金で活動しており、今後は、ラクセーヌ商店会や自主財源の比率を徐々に高めていくことが求められる。

（２）託児スタッフの継続的関わり

次に、託児スタッフの継続である。この託児サービスは地域住民と商店会が一体となって地域活性化に寄与するために、民間の子育て支援事業者への委託ではなく、有償の地域ボランティアによる運営のかたちをとっているため継続的な地域ボランティアの協力が不可欠である。託児スタッフへのヒアリング調査によると、全員が次年度以降も継続する意向を示している。

加えて、「託児経験（有資格者）を社会で役立てたい。」、「子どもたちと触れ合うことで自分も癒され、元気をもらえる。」といった意見もきかれており、やりがいや社会貢献の場ともなっていることがわかる。

（３）ラクセーヌ、公社、NPO および託児スタッフの協力体制の継続

3 つ目は、各主体の協力体制である。月１回の頻度で各主体が集い、情報交換や意見交換を行なう託児スタッフ定例会を設けたことで、お互いに顔見知りの関係になったことが本取組において重要であった。ここで交わされた意見や改善点は、適時、託児サービスに反映されていった。今後も託児サービスを継続していくには、託児スタッフ定例会等の場を設け、協力体制を継続していくことが肝要である。

2. 高齢者を対象とした身近な相談窓口の振り返り

今年度の振り返りの場として、高齢者相談窓口連絡会を開催し、意見交換を行なった。
その結果は以下のとおりである。これらの意見は来年度の実施にいかしていく。

日時：2015 年 3 月 20 日（金）15 時～16 時
場所：センタービル 4F　コワーキングスペースらくさい

（１）西京区介護予防推進センター

・不定期での実施のため、利用者に次回の案内をすることが難しかった。案内がしやすいように、毎週実施できればよかった。次年度は毎週実施したい。
・健康や病気の予防に関心・興味を持たれる方が増えているため、このような機会は必要であった。

（２）境谷地域包括支援センター

・西京区介護予防推進センターと同日に実施した。そのため、血圧を測った後に、日常会話から相談の流れになることが多数あった。
・普段あまり足を運ばない方が、ラクセーヌ専門店で実施することで利用してくれた。
・健康や病気の予防のＰＲスペースとして活用され、参加できて嬉しい。次年度も続けたい。

（３）沓掛地域包括支援センター

・境谷地域包括センターと同様、血圧測定等の後に日常会話から相談の流れになる。
・ラクセーヌ専門店での相談の後、2 件ほどその後の相談へつながった。
・フードコート近くで実施していたため、そこから来られる方も多く、設置場所はよかった。

（４）洛西ニュータウン病院

・遠巻きで見ている方が多い。声をかけると、血圧測定等に興味を持ち参加される方が多い。
・血圧測定をされた方に、血圧を記入できる手帳を渡していたが喜んでもらえた。
また、その手帳を西京介護予防推進センターでの相談の際にも使用されており。日頃の予防にもつながっていると感じた。

（５）ソーシャルアロマテラピー

・アロマをいろいろな方に知ってもらうができてよかったと感謝している。
・認知症の予防や改善への効果について、関心をお持ちの方がやはり多く、興味を持ってスプレーづくりなどに参加されていた。
・ハンドトリートメントは、子育て中のお母さんや高齢者の方々に少しでもほっこりしていただけるように、気持ちを汲み取れるようにさりげなく声がけをしつつ行なった。遠巻きに見ている高齢者も徐々に増えつつありリピーターもいた。

3. 多世代交流の場づくりの課題

今回、京都市住宅供給公社とラクセーヌ商店会が地域住民と一緒に運営していくための様々な条件整備と協働の意識が出来てきたことは大きな成果である。

しかし、託児サービスと高齢者窓口は機能的・仕組み的には出来てきたが、地域密着型の多世代交流の場としてはまだ育っていない。現場運営面での工夫だけに終わることなく、「多世代交流の場」として地域団体の発表の場やコミュニティー活動など新たな企画と刺激策を試行しながら定着を図っていきたい。特に、託児スタッフと高齢者窓口機関及び京都市住宅供給公社、ラクセーヌ商店会の総合ミーティングを重ねて方向を出していくことが相互の当事者意識を高める上でキーファクターになり得る。

以上